

前年度分を報告

北九州市長 殿

産業廃棄物管理票交付等状況報告書（

令和 年度）

令和 年 月 日

事業者（排出者）＝報告者

報告者

住 所 北九州市小倉北区内〇-〇-〇

法 人 名 株式会社〇〇〇

代 表 者 名 代表取締役 〇〇 〇〇

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 093-〇〇〇-〇〇〇〇

廃棄物が運搬された場所（処理施設や積替え保管場所）
の住所を記載
※運搬受託者の本社住所ではないことに注意

許可番号 1 1 桁を記載
※委託契約書に添付の許可証で確認
※運搬と処分が同一の受託者であっても、
許可番号は運搬と処分異なる

リンク

・報告者の業種
・日本産業分類
の中分類を記載

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の3第7項の規定に基づき、令和年度の産業廃棄物管理票に関する報告書を提出します。

事業場の名称		株式会社〇〇〇 ×××事業所				業 種	金属製品製造業		
事業場の所在地		北九州市 若松区〇〇町〇-〇-〇				電話番号	093-〇〇〇-〇〇〇〇		
番号	産業廃棄物の種類	排出量(t)	管理票の 交付枚数	運搬受託者の 許可番号	運搬受託者の 氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の 許可番号	処分受託者の 氏名又は名称	処分場所の住所
1	廃プラスチック	0.35	1	0760●●●●●●●●	株式会社〇〇	北九州市小倉南区 〇〇町〇-〇	0762●●●●●●●●	□□株式会社	
2	廃PCB等	1	1	0761●●●●●●●●	株式会社〇〇運 輸	北九州市若松区 〇〇町〇〇-〇〇	*****	無害化認定	
3	紙くず	0.5	5	0760●●●●●●●●	〇〇物流株式会 社	北九州市八幡西区 夕原町2番1号	*****	北九州市 皇后崎工場	
4	金属くず	5	3	*****	自社運搬	北九州市門司区 〇〇町〇〇-〇〇	888888888888	有償売却	

排出量は「トン」で記載。マニフェストをトン以外で
交付している場合は、ホームページに掲載している
換算係数を参考に換算する

自社運搬 : *を11個入力
無害化認定 : *を11個入力
市焼却工場 : *を11個入力
有償売却 : 8を11桁入力

設置が短期間又は所在地が一定しない事業場（建設現場など）が複数ある場合は、
まとめて報告
（記載例）
事業場の名称：〇〇解体工事 他〇件 など
事業場の所在地：北九州一円、北九州各所 など

運搬先と同じ場合、
記載不要
（通常は同じ）

様式第三号別添 1

番号	産業廃棄物の種類	排出量(t)	管理票の 交付枚数	運搬受託者の 許可番号	運搬受託者の 氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の 許可番号	処分受託者の 氏名又は名称	処分場所の 住所
5	廃水銀等（処分する ために処理したものを含む）	0.01	1	0766●●●●●●●●	株式会社○○	北九州市戸畑区 ○○町○○-○○			
6	リレー運搬			●●●●●●●●●●	○○株式会社	○○県○○市 ○○町○○-○○	●●●●●●●●●●	株式会社○○開発	
7	積替え保管及びリレー運搬により、複数の運搬者に委託した場合は、 複数行に分けて処分場所までの運搬情報を記載。								
8									
9									
10									
11									
12									
13									

備考

- この報告書は、前年4月1日から3月31日までに交付した産業廃棄物管理票について6月30日までに提出すること。
- 同一の都道府県（政令市）の区域内に、設置が短期間であり、又は所在地が一定しない事業場が2以上ある場合には、これらの事業場を1事業場としてまとめた上で提出すること。
- 産業廃棄物の種類及び委託先ごとに記入すること。
- 業種には日本標準産業分類の中分類を記入すること。
- 運搬又は処分を委託した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄にその旨を記載するとともに、各事項について石綿含有産業廃棄物に係るものを明らかにすること。
- 処分場所の住所は、運搬先の住所と同じである場合には記入する必要はないこと。
- 区間を区切って運搬を委託した場合又は受託者が再委託を行った場合には、区間ごとの運搬受託者又は再受託者についてすべて記入すること。

マニフェストからの転記例

様式第三号（第八条の二十七関係）

産業廃棄物管理票交付等状況報告書（令和 年度）前年度分を報告

北九州市長 殿 令和 年 月 日

事業者(排出者) = 報告者

報告者
住所 北九州市小倉北区内〇-〇-〇
法人名 株式会社〇〇〇
代表者名 代表取締役 〇〇 〇〇
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 093-〇〇〇-〇〇〇〇

許可番号 1 1桁を記載
※委託契約書に添付の許可証で確認
※運搬と処分が同一の受託者であっても、
許可番号は運搬と処分で異なる

産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の3第7項の規定に基づき、令和年度の産業廃棄物管理票に関する報告書を提出します。

事業場の名称	株式会社〇〇〇 ×××事業所	業 種	金属製品製造業						
事業場の所在地	北九州市 若松区〇〇町〇-〇-〇	電話番号	093-〇〇〇-〇〇〇〇						
番号	産業廃棄物の種類	排出量(t)	管理票の付枚数	運搬受託者の許可番号	運搬受託者の氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の許可番号	処分受託者の氏名又は名称	処分場所の住所
1	廃プラスチック ③	0.35 ※ ④	1	0760 ●●●●●●	株式会社〇〇	北九州市小倉南区〇〇町〇-〇	0760 ●●●●●●	〇〇株式会社	〇〇町〇-〇 ⑧
2	廃PCB等	1	1	0761 ●●●●●●	株式会社〇〇運輸	北九州市若松区〇〇町〇-〇	*****	無害化認定	⑥と同じ場合、⑧は記載不要
3	紙くず	0.5	5	0760 ●●●●●●	〇〇物流株式会社	北九州市八幡西区夕原町2番1号	*****	北九州市皇后崎工場	
4	金属くず	5	3	*****	自社運搬	北九州市門司区〇〇町〇-〇	88888888888	有償売却	

※排出量は「トン」で記載。マニフェストをトン以外で交付している場合は、ホームページに掲載している換算係数を参考に換算する。
(参考)
廃プラスチック類の換算係数は「0.35 t/m³」なので、
1 m³ × 0.35 t/m³ = 0.35 t

① 報告者の業種・日本産業分類の中分類を記載

② 電話番号

③ 廃プラスチック

④ 0.35 ※

⑤ 運搬受託者の許可番号

⑥ 運搬先の住所

⑦ 処分受託者の許可番号

⑧ 処分場所の住所

産業廃棄物管理票（マニフェスト）A票

交付年月日 年 月 日 交付番号 整理番号 文付担当者 氏名

事業者(排出者) 氏名又は名称 株式会社〇〇〇 住所 〒 電話番号 093-〇〇〇-〇〇〇〇 北九州市小倉北区内〇-〇-〇

事業場(排出事業場) 名称 株式会社〇〇〇 ×××事業所 所在地 〒 電話番号 093-〇〇〇-〇〇〇〇 北九州市若松区〇〇町〇-〇-〇

種類(普通の産業廃棄物)	種類(特別管理産業廃棄物)	数量(及び単位)	荷姿
☐ 0100 燃えがら	☐ 1200 金属くず	1m ³ ※ ④	産業廃棄物の名称
☐ 0200 汚泥	☐ 1300 ガラス・陶磁器くず		
☐ 0300 廃油	☐ 1400 鉱さい	有害物質等	処分方法
☐ 0400 廃酸	☐ 1500 がれき類		
☐ 0500 廃アルカリ	☐ 1600 家畜のふん尿	備考・通信欄	☐ 水銀使用製品産業廃棄物 ☐ 水銀含有ばいじん等 ☐ 石棉含有産業廃棄物 ☐ 特定産業廃棄物
☒ 0600 廃プラスチック類 ③	☐ 1700 家畜の死体		
☐ 0700 紙くず	☐ 1800 ばいじん		
☐ 0800 木くず	☐ 1900 13号廃棄物		
☐ 0900 繊維くず	☐ 2000 動物系固形不要物		
☐ 1000 動植物性残さ	☐ 2100 汚泥		
☐ 1100 ゴムくず	☐ 2200 指定下水汚泥		
	☐ 2300 鉱さい(有害)		

中間処理産業廃棄物 ☐ 帳簿記載のとおり ☐ 当欄記載のとおり

最終処分場所 ☐ 委託契約書記載のとおり ☐ 当欄記載のとおり

運搬受託者 氏名又は名称 株式会社〇〇 住所 〒 電話番号 ⑤

処分受託者 氏名又は名称 〇〇株式会社 住所 〒 電話番号 ⑦

運搬の受託 (受領欄) 運搬 年 月 日 数量(及び単位)

処分の受託 (受領欄) 処分 年 月 日 数量(及び単位)

最終処分を行った場所 名称 所在地 電話番号 (委託契約書記載の場所にある場合は委託契約書記載の番号)

照合確認 B2票 年 月 日
D票 年 月 日
E票 年 月 日

発行元：公益社団法人 全国産業資源循環連合会